

# 城北まちづくり通信

2022/2/17

28号

城北まちづくり協議会  
事務局：城北地区公民館

## 人にやさしい色づかい ～カラーユニバーサルデザイン～

今回、文化・交流部会が、毎月の“あいさつ運動”の際に、注目を集めるツールとしての「のぼり旗」を新調しました。その際に配慮したことは、城北地区が目指す福祉を基軸にした、『共生社会』に相応しい「人にやさしい色づかい」「配色」と「デザイン」にすることでした。

「色はみんなが同じように見えている」と思いがちですが、実は、色覚（色の感じ方）は、味覚や嗅覚と同じように、見分けやすい色と見分けにくい色は、人それぞれ違っています。日本人男性の約20人に1人、女性の約500人に1人が色弱（赤緑色弱）であると推定され、日本全体では約320万人とされています。（鳥取県人権局掲載データ）また、「色彩情報の弱者」となっている人は、先天的な色弱の人だけではなく、目の疾患や加齢によって色覚が変化した人（白内障、緑内障など）も含まれます。



『カラーユニバーサルデザイン』の3つのポイント（とりネット/鳥取県公式サイトより抜粋）

1. できるだけ多くの人に見分けやすい配色。
  - 彩度の高い色と低い色、明度は明るい色と暗い色を組み合わせる。
  - 色の濃淡・明度の差（コントラスト）をつける。（背景の色と文字の色に明暗の差をつける。）
2. 色を見分けにくい人にも情報が伝わるようにする。
  - 形を変えたり、文字にふちどりをつける。
  - 形を変えたりマークを併用したりする。
  - ハッチング模様をつける。（地図やグラフなどは斜線やドットなどの模様をつける）
  - 文字や線を太くする。
3. 色の名前を用いたコミュニケーションを可能にする。
  - 色の名前を記載する。（「ピンク」「みずいろ」など）



\*とりネットで「ガイドブック」がダウンロードできます

以前に、公民館で「カラーユニバーサルデザイン」をテーマにした講座がありました。今回、そこでの学びの成果が活かされました。（文化・交流部会 事務局：福島さん）



## 子ども用品リユース事業 『よってみんなさい』（地域の“話し愛・支え愛”推進モデル地区事業）

### ～ ボランティア募集 ～



まち協・公民館・民生児童委員・子育てサークル・保健所・人権センター・市社協等の関係者で企画を練った上で、標記の事業を進めてきました。今回の取り組みは、

城北地区の「リユース事業」を展開する環境やニーズを把握することと同時に、展開するためのノウハウを蓄積することを目的にしています。

持続可能な“まちづくり事業”にするためには、マンパワーが不可欠です。

本事業に限らず、“出来るときに”・“出来る範囲”で“負担感無く”、お手伝いいただけるボランティアを募集しています。問い合わせ先までご連絡ください。

\* 因みに「よってみんなさい」の事業名は、「寄ってみんなさい」・「選ってみんなさい」の鳥取方言から考案しました。

- 日時：2月25日（金）10:00～11:00
- 場所：さざんか会館（3階団体支援室）
- 作業内容：こども服の仕分け（サイズ・種類等）

#### 【問い合わせ先】

鳥取市社会福祉協議会 地域福祉課  
（城北地区担当）：西村さん・宮川さん TEL 0857-24-3180

